

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人長岡東山福祉会

令和5年度社会福祉法人長岡東山福祉会重点施策及び運営方針に基づき、次の事業を実施した。

【社会福祉法人長岡東山福祉会本部事業】

事業運営の成果

1. 理事会の開催状況

開催日	出席者数	議案
6月6日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告及び決算、並びに監査報告について ・リスク管理体制規程の制定について ・理事・監事の任期満了に伴う役員候補者の推薦について ・定時評議員会の招集について ・理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告） ・令和4年度支出予算の流用について（報告） ・無線ケアコールシステム「ココヘルパ」整備に伴う入札結果について（報告） ・業務継続計画（BCP）の策定について（報告）
6月21日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び業務執行理事の選定について ・リスク管理体制規程の一部改正について
12月22日	理事5/6名 (監事1/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1次補正予算について ・経理規程の一部改正について ・経理規程細則の一部改正について ・勤怠管理システム及びNDソフトウェア「ほのぼのNEXT」更新並びにパソコン入替整備に伴う入札執行等について ・理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告）
3月25日	理事6/6名 (監事2/2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第2次補正予算について ・令和6年度事業計画及び当初予算について ・管理運営規則の一部改正について ・事務決裁規程の一部改正について ・事務処理規程の一部改正について ・個人情報に関する基本方針の一部改正について ・個人情報の利用目的の一部改正について ・個人情報に係る開示などに関する規程の一部改正について ・特別養護老人ホームかつぼ園介護老人福祉施設運営規程の一部改正について ・短期入所事業かつぼ園短期入所生活介護運営規程の一部改正について ・特別養護老人ホーム花の里かつぼユニット型地域密着型介護老人福祉施設運営規程の一部改正について ・グループホーム花の里かつぼ認知症対応型共同生活介護（介護予防認知症対応型共同生活介護）運営規程の一部改正について ・デイサービス花の里かつぼ（介護予防）共用型認知症対応型通所介護運営規程の一部改正について ・デイサービスセンターかつぼ園通所介護・介護予防通所サービス運営

		<p>規程の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市デイサービスセンターふそき通所介護・介護予防通所サービス運営規程の一部改正について ・長岡市デイサービスセンターふそき 暮らし元気アップ事業運営規程の一部改正について ・在宅介護支援センターかつぼ園居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・介護プランセンターふそき居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について ・高齢者虐待防止のための指針の一部改正について ・就業規則の一部改正について ・慶弔規程の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・役員等賠償責任保険契約について ・理事長並びに業務執行理事の職務の執行状況について（報告） ・勤怠管理システム及び ND ソフトウェア「ほのぼの NEXT」更新並びにパソコン入替整備に伴う入札結果報告、契約締結の件について（報告）
--	--	--

2. 定時評議員会の開催状況

開催日	出席者数	議案
6月16日	5/7名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告及び決算、並びに監査報告について ・令和5年度事業計画並びに当初予算について（報告）

3. 法人本部の取り組み

(1) 法人本部事務局

① 財務に関すること

- ・入所系事業所の稼働率向上

「チーム東山福祉会」の取組みが進み、特養かつぼ園では退所者数が前年度から5人増だったが、入退所に伴う空床数は97日削減され、稼働率99.6%（0.5%アップ）となった。また、入院に伴う空床が特養かつぼ園で83日、特養花の里かつぼで163日減少したことが高い稼働率維持に繋がった。グループホームは体調不良による入院が多く稼働を落としたが99.0%を維持している。

- ・通所介護事業の稼働状況

90%近くの稼働とするには休止・終了を上回る新規ケースの獲得や振替え利用が重要となるが、選ばれる事業所となるための取組みとその情報発信の量の差が両事業所の稼働状況に表れた。次年度は両事業所の連携を強化し、ご利用者のニーズに沿ったサービスメニューを充実させたい。

- ・人件費や原材料費高騰等の影響で食材料費や業務委託費の値上がりがあったが、法人全体での節約・節電取り組みや、一括購入することで単価を抑える取り組みにより費用削減に繋がった。
- ・在宅サービスご利用者の軽度化により、これまでの目標稼働率では収支差額の計上が難しくなりつつある。また、入所系事業所はこれ以上高い稼働は望めない所まで来ているので、高い稼働を安定して維持することと費用削減の取り組みを継続する。

② 人材育成と人員確保に関すること

・人材育成と人事考課

年間研修計画に添い各拠点で研修を計画的に実施、振り返りシートを活用し学びの検証を行った。昨年度はテーマとして「5S活動の促進」と「報連相の重要性」を取り上げ、役職者、全職員それぞれに実施、その後各部署で取り組みを強化した。また、今年度は外部講師による研修や現場指導を導入し、自ら考える職員の育成を目指した。職員の意識が変化している事業所もあり、効果を実感している。

人事考課については、適正な考課をするため昨年度作成した基準書を基に考課者による判断基準のすり合わせを行った。あわせて最終考課結果決定前に、本部事務局職員と1次、2次考課者の意見交換を設けた。そのことにより考課者の判断の修正を図ることができた。

・人材確保と人材の定着

採用活動用パンフレットや、採用ガイダンスのブース装飾、PR方法などを工夫し、より求職者に興味をもってもらい取り組みを実施し、来訪者が増え就職に繋がるなど成果が出た。また、進路指導担当者との信頼関係構築のため学校訪問の回数も増やした。しかし採用活動は長期にわたっての計画が必須であり、次年度は行動計画を立案しスピードを持って対応したい。

また、療養休暇者への合理的な配慮を行うため内規の整備や時間外削減に取り組んだ。あわせて見守り機器の導入、日常業務の見直し等を行い、全ての事業所に一定の効果がみられた。

・心のサポート事業

心にストレスを抱える職員を支援するため、心理士による心のサポート事業を立ち上げ2年目となった。21回実施、延33名が利用した。

新採用職員には入職後3カ月程度を目安に面談を実施し定着促進を図ったが、難しいケースも多かった。子育て世代で子供が小学校入学する時期に不安定になったり、成長と共に関わり方に悩む職員もあり、そういったことが離職を考えるきっかけになり得るため子供との接し方をテーマにした研修会を実施した。次年度も職員が仕事と家庭の両立支援も含め継続し、離職防止に努めたい。

③ 情報発信に関すること

・インスタグラムによる法人の魅力発信

法人広報委員会から各事業所にインスタグラムでの定期発信を働き掛けた結果、1日平均1~2件投稿されるようになり令和5年12月にはフォロワー1,200人を超えた。まだ事業所間で投稿数に開きがあるが、ショートステイは「したいが叶う」を毎回の投稿に出してアピールしたことが新規ケース獲得に結び付き高い稼働率維持に繋がったことは、他の事業所も参考になるところである。投稿数が増えて多くの活動をご利用者と職員が行っている様子が掲載されたことは、就職活動中の方にも届き、特に介護施設経験者の中途採用に一定の効果があつた。

事業者間で投稿数に差があることや活動の実施報告が主な内容になっていることから、次年度はアクティビティやイベントの告知を投稿してサービス利用者の増に繋げたい。

④ 地域連携に関すること

・花華クラブ

猛暑と雨天により年間10回の活動となった。また、高齢化が一層進み今年度をもって2名が退会された。活動内容は前年度と変えず雨天は中止としたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、次年度は屋内での活動も計画して活動を継続する。

・お元気学校

介護保険事業対象外の要援護者を対象とし、今年度は新規参加者4名、介護保険サービスの移行者は2名だった。毎年プログラムの中で介護保険制度やサービスの内容について説明を行ってきたことから、移行された方々は制度をしっかりと理解されており、法人内のサービス事業所へスムーズに繋げることができた。活動内容としては、年間を通して活動の様子や創作した作品を写真で記録し、オリジナルカレンダーを完成させた。参加者からは「一年間の思い出が詰まった素敵なカレンダーになった」と喜びの声が多数寄せられた。

・レインボー健康体操

令和5年度は大雪の影響等で開催を中止する日もあったが、それ以外はふそき教室・花の里教室共に定期的に開催することができた。ふそき教室については新規参加者も増えておりコロナ禍前に戻りつつある。花の里教室については参加者数の変動はほぼなかった。なお、外部団体への講師出向については、包括支援センター経由からの依頼のみ実施した。今後、インストラクター人数体制に応じ無理のない範囲での講師出向を検討していくこととしたい。

・介護体験教室

12月に山本中学校1年生の総合学習の一環として介護体験教室を開催した。特養花の里かつぼ園での日常の様子や取組等を通し、昨年同様介護の魅力の発信やレインボー健康体操、高齢者疑似体験、福祉用具事業者の協力を得て最新式車椅子や歩行器等の体験等を実施した。生徒の皆さんからは、「高齢者の方の暮らしを支える仕事だとわかりやりがいがあると感じた」「かつぼ園での活動が楽しそうで興味が持てた」等の感想が寄せられた。中学生に福祉の仕事についての理解を深め、興味を持ってもらうことができた。

(2) 法人本部総務課

① 事務係

- ・各事業所が予算管理できるよう、収支差額率を目標にサポートと管理を行った結果、目標収支差額率を上回ることができた。他に課題はあるが具体的な目標を示すこと、チームで目標に向かって行動できたことは次の行動につながる良い行動だった。
- ・規程に沿った運用ができていないかを見直し、課題点についての研修を行い拠点間で統一した運用ができたが、他にも課題点があるので引き続き研修等を行い更なる正確性・透明性に努めていく。
- ・ペーパーレス化について、すぐに着手できる書類から検討し令和6年度より実施できるように行動したことは目標達成に結びつく良い行動だった。3M5S活動は不要な物を処分できたがその後の行動に結びつかなかった。最終的な目標を意識して取り掛かることが重要だった。

② 総務係

- ・採用計画に基づき、例年の倍のガイダンスに参加し高校生1名の採用に繋がった。また、2025年新卒の内定者1名を獲得できた。また、大学・専門学校・高校への訪問回数も増やし、有益な情報収集に努め、2025年採用計画、中期での採用計画へとつなげる事ができた。
- ・ナースコール機器導入を行い、各部署での導入前後の歩数データ及び呼出データを計測。カメラ画面がついている部屋については、画面確認、対応することで改善を図れたが大幅な行動歩数の改善には至らなかった。ただし、カメラ録画によるアクシデントの検証・改善を行えるようになった。インカムについては、多床室と個室での活用に差が出ており、個室では有効的な活用が行えている。今後も検証を引き続き行い業務改善に繋げる。

- ・3年目を迎えたインスタグラムは、投稿数800件、フォロワー1,200人を超える事ができた。職員採用や利用者獲得に効果が出てきている。今後は結果や報告等の投稿のみならず、告知投稿も増やし利用者獲得のための広報を行っていく。

(3) 健康管理課

① 食事サービス係

- ・最期まで経口摂取を続ける事を目標に、ご利用者一人一人の咀嚼嚥下状態にあった食事形態での食事を提供できた。形態の変更や量の調整、飲み込みの様子など、日々のミールラウンドを行う中で他職種と情報共有を重ねスムーズに対応することができた。
- ・毎日の厨房内の調理機器等の点検や委託事業者の栄養士との情報共有を継続実施し、機器の不備等に迅速に対応するよう努めた結果、スムーズな食事提供が実施できた。
- ・ふそき元気塾での講話は、文字だけの資料にならないようイラスト等を用い、見てわかるように工夫した。また、質問も多く食事についての関心度が高いことが伺えた。口腔ケアについても、歯磨きを意識している方が多いことから、今後ご利用者の日常生活上の興味関心事を把握し、情報提供していきたい。
- ・業務マニュアルについては作成が間に合わなかった。令和6年度の早い時期の完成を目指す。

② 機能訓練係

- ・ご利用者の身体機能維持を目的とした個別対応の機能訓練に継続して取り組んだ。今年度は原則毎日の実施を目指し職員への働きかけを行ったことで、前半期は実施回数も増え、ご利用者の満足度や意識向上に繋がったが、後半期は新型コロナウイルスの発生や風邪症状等による体調悪化者の増加等で実施率が低下してしまった。また、職員体制により個別リハビリへ対応できる時間の確保が難しくなっている。次年度以降の体制については改めて検討したい。
- ・施設介護計画に基づいたリハ室での一部ご利用者との歩行訓練も継続して行った。意欲的な方が多く生活の張り合いとなっている。
- ・ご利用者個々の身体状況に合わせ、作業工程を細かく分け、できることをやっていただく創作活動は継続して取り組んだ。個々のご利用者ができることに参加した結果作成された葉は、面会者や地域の方々々に好評であり、それをきっかけに会話も生まれた。次年度はさらに工夫を重ね、手に取っていただける葉を目指し、デザインや作業工程等を検討したい。あわせて葉にインスタグラムQRコードを掲示し施設での生活をご家族や一般の方々へ知っていただく機会作りへ繋げていきたい。

<資料>

職員の動向

採用者・退職者数

単位：人（実数）

雇用形態	採用者数		退職者数	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
R5年度	12	7	16	3
R4年度	13	7	15	3

法人全体	R5年度末		R4年度末	
	職員数	常勤換算数	職員数	常勤換算数
常勤職員数	150 (内育児休業取得者4名)	146	153 (内育児休業取得者5名)	148
非常勤職員数	33 (内育児休業取得者1名)	21.2	34	21.7
合計	183	167.2	187	169.7

法人研修

開催月	定期研修	キャリアアップ研修Ⅰ(全職員)Ⅱ(役職者) 職種別研修その他
4	法人の理解・BCPとは(本部主催)	認知症ケアの実践と理解 (本部主催・外部講師)
5	感染症・食中毒対策研修(委員会主催)	
6	身体的拘束適正化研修(委員会主催) リスク管理研修(委員会主催)	考課者振り返り研修(本部主催・外部講師) キャリアアップ研修Ⅱ①(本部主催) キャリアアップ研修Ⅱ②(本部主催)
7	個人情報保護とプライバシー保護について	
8	救急救命講習	キャリアアップ研修Ⅱ③ハラスメント対応研修 (本部主催) 新任考課者研修(本部主催) 事務職員職種別研修
9	感染症対応実地研修(委員会主催)	新採用人事考課研修(本部主催)
10		キャリアアップ研修Ⅰ(本部主催)
11	リスク管理研修(委員会主催)	自己考課研修(動画視聴本部主催) 考課者研修(本部主催・外部講師) 介護職員職種別研修
12	身体的拘束適正化研修 高齢者の権利擁護・虐待防止等について(委員会主催)	相談員研修(本部主催・外部講師) 看護職員職種別研修
1	認知症ケア研修(委員会主催) ターミナルケア研修	考課者研修(本部主催・外部講師) 介護支援専門員職種別研修 管理栄養士職種別研修
2		
3	メンタルヘルス研修(委員会主催)	新採用フォローアップ研修(本部主催) 次世代子育て世代向け研修(本部主催)

地域貢献自主事業（介護予防事業）

① 花華クラブ（月2回）

実施回数		延べ参加人数	
R5年度	R4年度	R5年度	R4年度
10	13	72	121

② お元気学校（月2回）

実施回数		延べ参加人数	
R5年度	R4年度	R5年度	R4年度
20	13	204	121

③ レインボー健康体操

ふそき教室（週1回）

実施回数		延べ参加人数	
R5年度	R4年度	R5年度	R4年度
50	41	1,173	706

水穴教室（隔週）

実施回数		延べ参加人数	
R5年度	R4年度	R5年度	R4年度
22	16	123	101

【拠点・特別養護老人ホームかつぼ園】

1. 事業運営の成果

(1) 特別養護老人ホームかつぼ園

① 1・2係（施設サービス課）

- ・昨年度同様インスタグラムの発信やサービスの特長を伝えたパンフレットの関係機関への配布を継続し実施した。この取り組みにより申し込みの問合せが昨年度比で29件増えた。また関係機関との連携も密になり、事情があって入所を急がれる方の受け入れもスムーズに行うことができた。
- ・今年度はコロナウイルス感染者が1名発生したが、施設内に広がることなくまん延を防ぐことができた。また入院者も少なかったが、年末に終末期ケアご利用者の退所が多数発生した。そのような状況下で空床期間を可能な限り短くするために、「チーム東山」の連携や待機者、関係機関への連絡を早めに行い、入退所に係る日数を大幅に短縮でき、年間の空床ベット数は昨年比で97日減となった。稼働率も昨年度比0.5%増、収益も増えた。
- ・Instagramにて日常の何気ない一コマやリハビリの様子を発信を強化した。ご家族からは「施設内の様子が分かり良かった」との感想を複数いただいた。その反応に今まで消極的だった職員の意識も変化し、ご利用者の生活場면을写真や動画で記録する回数も増えた。またご利用者もリハビリや活動が新たな楽しみや生活の励みになり、お互いに相乗効果があった。
- ・談話室の環境整備をさらに進め、機能訓練指導員を中心に野菜作りや施設の花を使用した押し花の葉を作成し、地域の小中学校などに届けた。それをきっかけに生徒さんとお互いに作品を贈り合うなどの交流が生まれ、活動を広げる事ができた。
- ・業務改善の取り組みとして、入浴業務の見直しを行った。それにより専門職の業務時間を確保し時間外勤務を減らす事ができた。また勤務時間も再考し、午前の業務の効率化を図る事ができた。
- ・今年度ケアコールシステムを入れ替え、新たな見守りシステムを導入した。このことにより、特に夜間帯において、ご利用者の突発的な動きの把握や対応する職員の連携を図ることができた。また、ご利用者の転倒等の事故発生の要因分析が可能となり、より実態に添った予防対策を考えることができた。あわせてインカムも導入したが、電波の不具合や使用上の課題もあり、想定していた効果には繋がっていない。

② 看護係（施設サービス課）

- ・他職種と連携を図り、ご利用者の健康状態を細かく観察するよう心掛けた。そのことにより感染症の発生時においても拡大を防ぐ事ができた。また協力病院との連携により適切な対応ができ、重症化するご利用者もいなかった。
- ・看取りケアの一環として、老衰の状態になられたご利用者のご家族に対して、医師との面談と診断内容を分かりやすく再度説明することを心掛け適宜行った。また、ご家族の要望に可能な限り答えるため、ご利用者との面会を多く持っていただいた。その結果、ご家族やご利用者の望む穏やかな看取り介護を実施できた。

<資料>

① 利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
実人数	5年度	107	105	105	105	104	106	109	109	115	106	109	105	1,285
	4年度	105	106	106	105	104	103	109	107	106	106	101	107	1,265
平均 介護度	5年度	4.12	4.14	4.13	4.13	4.16	4.17	4.16	4.16	4.15	4.09	4.10	4.06	4.13
	4年度	4.15	4.13	4.11	4.10	4.11	4.12	4.13	4.15	4.17	4.20	4.19	4.11	4.14
延べ利用 日数	5年度	3,108	3,222	3,117	3,223	3,219	3,106	3,206	3,099	3,189	3,220	2,999	3,223	37,931
	4年度	3,118	3,155	3,097	3,221	3,222	3,110	3,212	3,101	3,216	3,215	2,849	3,132	37,648
稼働率	5年度	99.6%	99.9%	99.9%	100.0%	99.8%	99.6%	99.4%	99.3%	98.9%	99.9%	99.4%	100.0%	99.6%
	4年度	99.9%	97.9%	99.3%	99.9%	99.9%	99.7%	99.6%	99.4%	99.8%	99.7%	97.8%	97.1%	99.2%
	増減	-0.3%	2.1%	0.6%	0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.8%	0.2%	1.6%	2.8%	0.5%

② 入退所状況

入所	在宅	老健	病院	法人内施設	他法人施設	合計
5年度	24	3	12	3	3	45
4年度	20	3	10	3	4	40

退所	在宅	施設 (看取り)	入院中	他施設、病院 へ退所	合計
5年度	0	45(42)	0	0	45
4年度	0	34(32)	0	6	40

③ 余暇活動状況

活動名	実施回数	延べ参加人数
喫茶	21	541
特養花華	5	60
調理クラブ	5	48
書道クラブ	8	80
生け花クラブ	11	132

月	内容	月	内容
4	ドライブ	10	
5	お茶会	11	運動会
6		12	
7		1	新年会
8	夏祭り・スイカ割り	2	節分
9	敬老会	3	春を迎える会

(2) 短期入所事業かつぼ園 (施設サービス課短期係)

・「自立支援」や「地域貢献」「地域交流」といったキーワードを大切に日々の活動に取り組んだ。認知症や介護が必要な状態になっても、地域の方との交流、役割を感じる活動への参加を目指し、ご利用者ができる事・好きな事等の情報をご家族と職員間で共有するとともに、ご家族の「介護休養」の目的だけでなく、ご利用者自身が利用する意味を感じられ、楽しみとできるよう関わり・活動に繋がるようチーム内で意見交換を重ねた。インスタグラムでの発信は「したいが叶う」のキャ

タッチコピーとともに更新し続けた結果、ご家族やケアマネからは、その都度、感想を聞く事ができチームでも共有した。「楽しそう」「良い顔してる」等聞かれ、ご家族にとっては、介護休養目的でショートを利用させる抵抗感の軽減にも繋がっている。

- ・新規ご利用者を受け入れる際は、特に事前にお聞きした情報を利用前にチーム内で共有し、初回の過ごし方の工夫に繋がった。年間新規 60 件、リピーターは 44 件、リピート率は 73.3%となった。骨折等で急に重介護を要する状態になった等の理由で緊急受入の依頼もケアマネジャーからあり、スムーズに対応した事で信頼関係の構築に繋がった。
- ・認知症重度者や若年性認知症の方も「断らない」を前提に、受入後のケアに活かせるような情報を正確に聞き取り職員全員で共有した。相談員は受け入れ後、ケアマネジャーと、利用時の状況の情報交換を行い、その内容をチーム内で共有する事を徹底した。事業所内でできる事・できない事を確認し、関係者へ伝える事でチーム内の不安軽減に繋がった。時には専門医への受診や入院に繋がったケースもあった。また、事務所内の机や椅子の配置替えにより、職員が事務所内に集まらないような環境改善をした事で、ご利用者の近くにいる時間が増えた。その結果個々のご利用者が望む過ごし方を提供できるようになった。また言動観察や突発的な動き出しへの対応も可能となり、利用者の安心や転倒の予防に繋がった。
- ・ショートご利用者の法人内施設への入所は年間 12 件だった。法人内他事業所との連携を図り、次の入所者やそれに伴う空床を予測することで、新規ご利用者の受け入れ数は増えたことから、入退所業務に係る負担と安全面でのリスクが高い状態となっている。各部署からの応援体制を得て日々の業務を遂行してきた。
- ・前述の取り組みにより、目標稼働率を大幅に上回ることができた。
- ・「チーム東山」ができた事で、法人内事業所の連携意識が高まり、業務の応援や実績配布等協力して行えた。

<資料>

① 利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	5年度	673	707	697	687	706	691	723	690	722	705	686	705	8,392
	4年度	664	686	681	666	696	645	670	646	689	668	501	673	7,855
平均 介護度	5年度	3.02	3.16	3.04	3.08	2.94	2.94	2.96	2.94	3.05	3.00	3.05	3.07	3.02
	4年度	3.32	3.30	3.26	3.28	3.23	3.16	3.05	3.06	2.87	3.04	2.85	2.90	3.12
実人数	5年度	52	61	60	59	65	66	61	62	68	64	60	61	739
	4年度	48	48	53	50	49	55	56	50	55	53	39	55	611
稼働率	5年度	112.2%	114.0%	116.2%	110.8%	113.9%	115.2%	116.6%	115.0%	116.5%	113.7%	118.3%	113.7%	114.7%
	4年度	110.7%	110.6%	113.5%	107.4%	112.3%	107.5%	108.1%	107.7%	111.1%	107.7%	89.5%	108.5%	107.9%
	増減	2.5%	3.4%	2.8%	3.4%	1.6%	8.2%	8.5%	7.3%	5.3%	6.5%	28.8%	5.2%	7.0%

② 余暇活動状況

月	内容	月	内容
4	ちらし寿司作り・花見ドライブ	10	ミニゲーム大会・東山ドライブ
5	ずんだアイス作り・イングリッシュガーデンドライブ・ハイブ長岡ドライブ・おはぎ作り	11	もみじ園ドライブ・テイクアウト寿司と手作り茶碗蒸しパーティー
6	フルーツパンチ作り	12	クリスマスイベント・しめ縄作り・ケーキ作り・さつま芋おやつ作り
7	イタリアンテイクアウトと手作り餃子パーティー・たこ焼き作り	1	新年会・生け花鑑賞・お汁粉作り
8	夏祭り・中越高校野球部交流	2	チョコプリン作り・節分行事・中越高校野球部交流
9	敬老会・花火	3	いなり寿司作り・エコバッグ配付（地域交流）
通年	畑作業、作物収穫祭、調理、季節の設え作成、体操&ゲーム大会		

（3）デイサービスセンターかつぼ園（在宅サービス課）

- ・年間稼働率目標を達成するため、他法人の居宅介護支援事業所との信頼関係構築が必須であることから、重点的に空き情報の発信や施設見学の働きかけを行った。紹介数は前年より減少したが、積極的に軽介護度者の受け入れを行い、活動内容をPRすることで利用実人数は増加した。また、キャンセルされた方には振り替えの提案を行うことで、キャンセル日数が前年より大幅に減少した。これらの取り組みにより目標稼働率を達成することができた。
- ・フロア内のテーブルの配置やベッド数等を見直し、環境を整え利用者の活動スペースを確保した。そのことにより、個別機能訓練の体操や新たに開始したお菓子販売「かつぼマルシェ」等、利用者の楽しみとなる活動が無理なくできるスペースの確保ができた。「マルシェ」については、実施時間を昼食後と設定したことで、食後に昼寝を希望される方が減少し、横にならず活動へ参加される利用者が増加し、自分がしたい活動に集中する時間を確保することができた。
- ・アクティビティ活動の小集団実施を意識して様々なメニューを考え取り組んだ。裁縫（刺し子やバック作り）は前年度から継続的に行っているが、創作キットを取り入れることで利用者の完成時の達成感や満足度の向上に繋がった。またテイクアウト調理活動も開始、自宅では作らない献立を利用者同士で話をしながら作ることが、利用者同士の交流の場となった。

<資料>

① 利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	5年度	703	738	710	726	710	700	722	685	697	632	631	693	696
	4年度	635	651	671	670	681	676	693	657	619	628	622	709	659
平均介護度	5年度	2.62	2.61	2.55	2.53	2.43	2.43	2.39	2.50	2.45	2.39	2.37	2.47	2.48
	4年度	2.61	2.63	2.60	2.41	2.46	2.47	2.42	2.51	2.52	2.61	2.58	2.66	2.54
実人数 (要介護)	5年度	82	84	85	84	87	86	86	84	84	79	78	81	1,000
	4年度	68	68	71	72	75	75	73	74	74	74	76	83	883
実人数 (要支援)	5年度	6	7	8	8	9	7	7	7	9	8	9	7	92
	4年度	2	4	6	6	7	7	7	8	8	8	9	7	79
稼働率	5年度	93.7%	95.2%	94.7%	93.7%	91.6%	93.3%	93.2%	91.3%	89.9%	87.2%	87.0%	89.4%	91.7%
	4年度	84.7%	84.0%	89.5%	86.5%	87.9%	90.1%	89.4%	87.6%	85.4%	86.6%	88.9%	91.5%	87.7%
	増減	9.1%	11.2%	5.2%	7.2%	3.7%	3.2%	3.7%	3.7%	4.6%	0.6%	-1.8%	-2.1%	4.0%

② 余暇活動状況

月	内容	月	内容
4	園庭お花見	10	秋の大運動会 ハロウィン仮想パーティー
5	とくし丸買物	11	創作キットでがま口・勾玉作り
6	フラワーアレンジメント	12	鏡餅作り クリスマス会
7	スイカ割り	1	新年会
8	デイ夏まつり	2	節分
9	敬老会	3	年度末感謝祭

(4) 在宅介護支援センターかつぼ園 (在宅サービス課)

- ・新規利用者については「興味関心シート」を活用したケアプラン作成に取り組んだ。シートを活用したことで、利用者が楽しみや生きがいを持った生活・自立支援を念頭に置いたケアプランの作成を行うことができた。
- ・目標稼働率を104%と設定し取り組んだが、107%と達成できた。また要介護者の請求件数が昨年に比べ28件多かった。要介護1、2は昨年に比べ75件増加したが、要介護3～5は47件減ったため、大幅な増収とはならなかった。年度当初は要介護者件数を増やし予防件数を28件と予定したが認定調査の依頼が少なかったため予防件数を増やす方向で取り組んだ。
- ・ケアマネジャー業務の「グレーゾーン」を今年度は事業所全体で学習した。その学びから個々のケアマネジャーが一人で判断するのではなく事業所内で統一した対応が出来るよう意識して取り組んだ。詳細な事項をマニュアル化をする予定だったが、完成に至らなかった。
- ・ご家族が「認知症や治療の必要性」について理解が深まるようリーフレットを作成した。個々の訪問面談時に活用し専門医の受診に繋げることができた事例もあった。また、行方不明者の対応について事業所内でフローチャートの見直しを行い、家族への情報提供、対応等に活用できた。

<資料>

① 利用者実績

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付費 請求件数	5年度	139	139	140	137	139	143	148	149	146	147	144	143	1,714
	4年度	142	139	142	143	146	145	140	138	142	136	134	139	1,686
介護予防 支援	5年度	23	23	24	23	25	25	26	26	26	27	26	27	301
	4年度	25	26	26	26	26	28	31	30	30	29	28	27	332
総合事業	5年度	3	3	3	2	2	4	4	4	6	6	7	3	49
	4年度	2	2	3	2	2	2	1	2	2	2	3	4	27
稼働率	5年度	103.4%	103.4%	104.4%	102.0%	104.1%	107.8%	110.9%	111.6%	110.2%	111.2%	109.2%	107.5%	107.1%
	4年度	105.8%	104.1%	106.5%	106.8%	108.8%	108.8%	106.1%	104.8%	106.8%	103.1%	101.7%	103.7%	105.6%

② 訪問調査

年度	件数
5年度	151
4年度	220

2. ボランティア・実習生等の受け入れ

(1) ボランティアの受け入れ

団体名等と内容	延べ人数 (回数)
桂町老人会 桂寿会 (除草作業)	30
浦瀬町老人会 長寿会 (まゆだま飾り)	3
山本地区民生・児童委員協議会 (除草作業・雑巾作り)	10
個人ボランティア (喫茶かつぼ お手伝い)	20
個人ボランティア (喫茶かつぼ お手伝い)	15
個人ボランティア (繕い作業)	16

(2) 実習生の受け入れ

受入事業所	区 分	R5 年度		R4 年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
特養かつぼ園	北陸福祉保育専門学院 (管理栄養士資格取得)	4	20	1	10
	悠久山栄養調理専門学校 (栄養士資格取得)	1	10	1	10
	悠久山栄養調理専門学校 (調理師資格取得)	2	20	2	20
支援センター	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	17	34	12	24
合 計		24	84	16	64

3. 苦情 (意見) 内容

なし

【拠点・福祉センターふそき】

1. 事業運営の成果

(1) 高齢者センターふそき

- ・今年度は新型コロナウイルスが5類に緩和され、専用室利用者数は増加したが、浴室利用が終了した影響で個人入館者数、総入館者数は前年度比で減少した。
- ・行事については、計画通り実施することができ、映写会は前年度比 665.3%と増加した。フラワーアレンジメント教室については前年度比 94.4%で微減ではあったが、新規者の参加など多くの方からご利用いただくことができた。
- ・初開催のふそきフリーマーケットについては多数の地域住民が来館され、多世代交流の足がかりとなった。

<資料>

① 利用者数

項目	年度	延べ人数	前年度比 (%)
専用室利用者	R5	8,803人	104.4
	R4	8,436人	
個人入館者	R5	3,994人	61.5
	R4	6,492人	
合計(総入館者)	R5	12,797人	85.7
	R4	14,928人	

② 行事等の状況

行事名	年度	回数	参加人数
フラワーアレンジメント	R5	12回	101人
	R4	12回	107人
映写会	R5	13日 (1日2回)	346人
	R4	8日 (1日2回)	52人
ふそきフリーマーケット	R5	1回	326人
	R4	-	-

(2) 長岡市デイサービスセンターふそき

- ・令和4年11月から認知症対応型通所介護を休業し、通所介護事業でご利用者の受け入れを行ったことで、年度前半は実人数が増え稼働率も高かった。後半は新規利用者の確保が難しく稼働率も大きく下がってしまったことから、地域へのかかわり版の回覧や、インスタグラムへの投稿、関係機関への働きかけを行った。結果、年間稼働率は昨年度と比較し改善した。
- ・ワークライフバランスを保ち、働きやすい職場環境を創るため、職員の時間外勤務を減らすことを目標に掲げ、送迎業務やアクティビティ業務、清掃業務について検証し改善に向けて取り組んだが、結果的には時間外勤務の削減には至らなかった。

- ・コロナの5類への移行後、介護専門学校からの申し出があり、学生による簡単なお手伝いや紙芝居のボランティアを再開し、ご利用者からも好評だった。
- ・感染対策を継続しながら、各種行事やアクティビティを実施した。年度途中からは、毎月初旬一週間を「遊びりウィーク」と称し、楽しみながら筋力アップを図るメニューを実施した。ご利用者からも喜びの声が聞かれた。
- ・自立支援の推進やフロア的环境整備に取り組んだ。結果、ご利用者に活気が生まれ、職員やご利用者の動線の確保ができ、有効なフロアの使用に繋がった。
- ・認知症対応型通所介護事業は、令和5年度末をもって廃止した。

<資料>

① 利用者実績（一般型）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	5年度	839	862	842	838	793	752	779	732	759	715	720	794	9,425
	4年度	708	779	781	835	628	763	806	795	738	778	764	864	9,239
平均介護度	5年度	2.43	2.48	2.42	2.44	2.42	2.36	2.28	2.33	2.28	2.35	2.39	2.38	2.34
	4年度	2.39	2.41	2.45	2.46	2.41	2.54	2.47	2.42	2.44	2.44	2.48	2.43	2.39
実人数 (要介護)	5年度	96	95	97	94	88	87	83	83	80	80	81	82	1,046
	4年度	81	83	86	86	84	86	84	93	93	89	92	95	1,052
実人数 (要支援)	5年度	13	12	11	10	10	10	13	13	15	14	13	13	147
	4年度	11	11	13	13	12	14	14	12	12	13	12	14	151
基準該当サービス	5年度	11	11	12	14	14	14	14	13	13	12	12	12	152
	4年度	30	26	13	23	20	5	7	7	5	13	14	15	178
稼働率	5年度	93.2%	92.7%	93.6%	90.1%	85.3%	83.6%	83.8%	81.3%	81.6%	76.9%	82.8%	85.4%	85.8%
	4年度	81.4%	83.8%	86.8%	89.8%	67.5%	84.8%	86.7%	88.0%	82.0%	83.7%	91.0%	92.9%	84.8%
	増減	11.8%	8.9%	6.8%	0.3%	17.8%	-1.2%	-2.9%	-6.7%	-0.4%	-6.8%	-8.2%	-7.5%	1.0%

② 余暇活動状況

月	内容	月	内容
4	お花見ドライブ	10	ふそきコミュニティセンター文化祭作品出展
5		11	
6		12	クリスマス会
7		1	新年を迎える会
8	ふそき夏祭り	2	節分
9	長寿を祝う会、すこともWEB美術館作品作り	3	春を迎える会

(3) 元気塾（くらし元気アップ事業）

- ・地域包括支援センター等他機関と連携を図り、スムーズに新規利用者を受け入れできるよう調整を行った。
- ・7月以降の登録人数は、ほぼ20～21人を確保できた。また自己都合によるキャンセルを減らすために、長岡市の運動指導員による教室、映写会、ドライブ、生け花等、より魅力的で多彩なプログラムを工夫し提供した。その結果キャンセル数は若干ではあるが減少し、稼働率は前年度対比0.8%増となった。しかし、お盆の時期は多数キャンセルがあり、前年度に引き続きこの時期の対策が課題である。

<資料>

① 利用者実績（火曜・金曜教室 合算）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	5年度	131	149	160	149	149	168	172	155	150	148	149	157	1,837
	4年度	172	149	150	174	164	147	148	168	119	135	134	146	1,806
実人数	5年度	38	37	38	42	40	41	42	42	42	42	40	39	483
	4年度	41	41	40	42	42	42	40	40	41	40	40	39	488
稼働率	5年度	81.9%	83.2%	88.7%	93.2%	83.4%	93.8%	95.8%	96.9%	93.8%	92.5%	93.2%	87.4%	90.3%
	4年度	95.3%	93.2%	93.8%	97.0%	90.0%	91.9%	92.5%	93.3%	74.4%	84.4%	83.8%	80.4%	89.2%
	増減	-13.4%	-10.0%	-5.1%	-3.8%	-6.6%	1.9%	3.3%	3.6%	19.4%	8.1%	9.4%	7.0%	1.2%

② 余暇活動状況

月	内容	月	内容
4	お花見ドライブ	10	紅葉ドライブ
5		11	映写会
6	映写会	12	生け花
7		1	
8		2	映写会
9		3	

(4) 介護プランセンターふそき

- ・毎週の事業所内会議の場で、各担当ケースの動向を事業所内で共有し、適宜ケース検討を行った。関係機関や地域包括支援センターと連携しながら、色々な事情を抱えたケースの対応を行うことができた。また、新規の相談についても、各担当のケースの動きを確認し受け入れたことで、昨年よりも高い稼働率を達成することができた。
- ・他法人の主任介護支援専門員と共同で、7月『災害時下での支援の在り方や体制作りについて』と12月『経済的な支援が必要な支援についての事例検討』の研修会を企画・開催した。特に7月の研修では、災害発生時に優先順位をどのようにつけていくか、それぞれの事業所に分かれてグループワークを行い、それぞれの事業所の利用者の優先度を判断する基準を考える機会となった。
- ・新規利用者のニーズを把握する為、興味関心シートを活用し、今どのようなことをしているのか、してみたいと考えているのか等確認した。今年度サービス内容について具体的な提案をすることは出来なかったが、今後年間の集計を行い、ご利用者がどのようなことに興味を持っているのか報告し、サービス内容の提案等につなげていく。

<資料>

① 利用者実績

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付費 請求件数	5年度	133	131	135	137	133	131	132	135	133	134	138	138	1,610
	4年度	132	130	133	133	133	133	130	133	134	134	130	128	1,583
介護予防 支援	5年度	16	17	18	18	19	19	19	17	17	18	14	15	207
	4年度	14	14	14	11	11	11	12	12	13	12	12	12	148
総合事業	5年度	4	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	10
	4年度	5	5	5	5	5	6	6	7	5	5	5	3	62
稼働率	5年度	105.9%	103.7%	106.7%	108.1%	105.2%	104.4%	105.2%	106.7%	104.4%	105.9%	107.4%	108.1%	106.0%
	4年度	104.4%	103.0%	105.1%	104.4%	104.4%	104.4%	103.0%	105.6%	105.9%	105.2%	102.2%	100.0%	104.0%

② 訪問調査

年度	件数
5年度	112
4年度	195

(5) 長岡市地域包括支援センターふそき（長岡市委託事業）

- ・積極的に実態把握に関する訪問を実施し、地域の高齢者の状況把握に努め、結果年間目標件数を達成できた。関係機関と連携を図りながら、さまざまな地域住民の相談に迅速に対応できた。
- ・相談者の抱える課題が多様化している中で、他分野の関係機関との定期会議やケース会議を開催し支援チームとしての体制を強化し支援にあたった。

資料

① 総合相談支援業務

・相談人数

(単位：件)

年度	電話	来所	訪問	その他	合計	実態把握 年間実件数
R5	2011	262	978	200	3451	277
R4	1,954	264	901	134	3,253	162

・相談経路

(単位：件)

年度	本人	継続	家族	民生委員	福祉機関	医療機関	地域機関	行政機関	その他	合計
R5	85	974	277	19	58	48	19	23	27	1530
R4	86	837	249	26	56	45	18	24	17	1,358

② 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

年度	地域ケア会議 開催回数
R5	1
R4	0

③ 高齢者権利擁護業務

・虐待対応

年度	受付件数	延べ対応件数
R5	31	397
R4	25	376

・コア会議開催状況

年度	コア会議	評価会議	個別 ケース会議	終結会議	合計
R5	33	4	0	12	49
R4	27	5	1	7	41

④ 介護予防ケアマネジメント業務（年間延べ件数）

年度	直営	委託	合計
R5	727	305	1032
R4	709	313	1022

⑤ 介護予防支援業務（年間延べ件数）

年度	直営	委託	合計
R5	452	1,912	2,364
R4	403	1,761	2,164

⑥ 年間給付管理件数

年度	直営	委託	合計
R5	452	1,910	2,362
R4	404	1,759	2,163

2. ボランティア・実習生の受け入れ状況

① ボランティアの受け入れ

- ・長岡子ども福祉カレッジの学生の皆さんから、ご利用者の話し相手やレクリエーション等を内容とするボランティアに来ていただいた。

② 実習・体験実習等の受け入れ

受入事業所	区分	R5年度		R4年度	
		実人員	延日数	実人員	延日数
長岡市デイサービスセンター ふそき	北陸福祉保育専門学院 (小学校教諭普通免許)	4	20	5	25
	新潟県社会福祉協議会 (介護等体験)	2	10	1	5
	長岡子ども福祉カレッジ (レクリエーション実習)	1	5	1	5
介護プランセンターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	17	34	8	16
地域包括支援センターふそき	新潟県厚生連中央看護専門学校 在宅看護実習	10	10	0	0
	悠久崇徳学園長岡崇徳大学 領域別実習	0	0	8	16
合計		34	79	23	67

3. 苦情（意見）内容

なし

【拠点・ケアセンター花の里かつぼ】

1. 事業運営の成果

(1) 特別養護老人ホーム花の里かつぼ

- ・法人内入所施設と連携を図り常時 30 名以上の待機者を確保することができた。またチーム東山を機能させ各部署間の連携を密にとった結果、入退居時の空床は平均 4.5 日間となり入退所に伴う空床を短縮できた。入院による空床は 37 日間だったが、空床総数は昨年度と比較し 20%改善したことで、平均稼働率は 99.5%、昨年度比 1.7%増となった。あわせて、新たに認知症ケア加算を取得したことで増収となった。
- ・支出については、法人内入所系施設で購入業者を統一する取り組みの一環として、排せつ用品を見直したことで、昨年度購入金額から 10%削減の目標を達成することができた。また、経年劣化に伴う修繕費の増加はあったが、昨年度エネルギー価格高騰の影響を受けた水道光熱費・燃料費を様々な取り組みにより令和 5 年度は削減でき、結果、前年度比サービス活動増減差額を約 1,183 万円改善することができた。
- ・待機者の中には、入居前の意思確認の段階になると、経済的な理由で多床室を希望し入所を辞退される方も多いため、対策として早めに連絡を行うことで、ご利用者・ご家族の考える時間が確保するように努め、結果 5 日以内の入所が達成できた。また SNS（Instagram、ホームページ）に日常生活の写真や動画を掲載し続けたが、家族からはもとより入居申し込み者も観ていただき、広く多くの方に施設を知っていただくことができた。
- ・ご利用者の介助中に他居室でナースコールがあってもすぐに対応できなかったが、「ココヘルパ」に変更したことにより、他者の介助中でもコールに対して素早く反応できるようになった。
- ・多職種連携により、体調の異常を早期発見し受診に繋げる等の対応ができた。年間入院者は 4 名だったが、いずれも入院期間は 10 日以内であり、怪我や骨折等の入院は無かった。
- ・入居者と職員複数名が新型コロナウイルスに感染したが、迅速な初期対応ができたことで蔓延することなく約 1 か月で終息することができた。
- ・給食委託業者と連携し、入居者の要望を献立に取り入れることができた。また感染対策を行いながら、ユニットでの炊飯、お菓子作りなどを適宜行うことができ、入居者の要望や嗜好の把握がより詳細にわかり、次の活動に繋げることができた。

<資料>

① 利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
実人数	5年度	31	29	30	29	29	29	29	29	30	29	29	29	352
	4年度	29	30	29	29	29	29	29	29	30	31	29	30	353
平均 介護度	5年度	4.35	4.34	4.33	4.34	4.34	4.34	4.31	4.31	4.33	4.34	4.45	4.45	4.36
	4年度	4.14	4.17	4.17	4.17	4.24	4.24	4.24	4.24	4.30	4.30	4.28	4.33	4.24
延べ利用 日数	5年度	864	899	867	899	899	862	899	860	895	890	831	898	10,563
	4年度	865	895	870	866	867	831	839	849	891	874	812	890	10,349
稼働率	5年度	99.3%	100.0%	99.7%	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	98.9%	99.6%	99.0%	98.8%	99.9%	99.5%
	4年度	99.4%	99.6%	100.0%	96.3%	96.4%	95.5%	93.3%	97.6%	99.1%	97.2%	100.0%	99.0%	97.8%
	増減	-0.1%	0.4%	-0.3%	3.7%	3.6%	3.6%	6.7%	1.3%	0.5%	1.8%	-1.2%	0.9%	1.7%

② 入退居状況

入居	在宅	老健	病院	法人内施設	他法人施設	合計
5年度	1	0	1	2	0	4
4年度	1	1	4	1	1	8

退居	在宅	施設 (看取り)	入院中	他施設、病院 へ退所	合計
5年度	0	3	0	1	4
4年度	0	7	0	1	8

③ 余暇活動状況

活動名	実施回数	延べ参加人数
喫茶	21	280
ユニット調理	14	79
畑作業	2	12
ユニット交流余暇	3	87
敬老会	1	29
花火大会	1	9
ドライブ	4	10
作品作り	20	60
体操	24	240
クリスマス会	1	29
新年会	1	29
誕生会	0	0

月	内容	月	内容
4	お花見ドライブ	10	ハロウィン収穫祭
5		11	
6		12	クリスマス会
7	アイス余暇	1	新年会
8		2	
9	花火大会、敬老会	3	仮装喫茶

(2) グループホーム花の里かつぼ

- ・例年転倒が要因の入院により稼働率が低下する傾向があったことから、職員全員で転倒リスクの高い方への対応や環境整備について協議し、かつりスク管理委員からも啓発活動を実施したこと等により、職員の予防意識も高まり転倒による入院はなかった。しかし、体調不良で入院される方が昨年度より多くなり、空床期間が22日増え99.1%の目標稼働率は達成できなかった。
- ・新型コロナウイルスの感染対策を講じたうえで、地域や各種学校と交流を検討し、桂小学校の花活動（ありんこ活動）や入学、卒業に合わせお祝いの作品贈呈、3.4年生による対面での施設訪問、中越高校野球部への応援交流などが実施できた。また山本コミュニティーセンター文化祭への作品展示、水穴集会場でのゲーム大会、山本野菜市での買い物、ゴミステーション清掃活動等

多岐にわたる活動を今年度も実施した。長岡市運営指導や運営推進会議で報告をすると、高評価をいただき職員の励みとなった。

- ・ご家族へグループホームで様子を発信するため、お便りの発行回数を増やし、入居後の生活がわかる写真や動画を撮り、ホームページやInstagramに掲載した。あわせて地域にも回覧した。
- ・入居者個々のニーズを把握するため「思い叶えますシート」を活用しつつ、楽しみが提供できるような取り組みを実施した。介護サービス計画書をより具体的な表現で記載し、身体状況や活動内容をご家族によりわかり易く説明するようこころがけた。そのことで、ご家族からの質問も増え入居者の状態をより理解していただくことができた。

資料＜入居者の状況＞

①利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
実人数	5年度	18	18	20	18	18	18	19	18	18	18	18	18	219
	4年度	18	19	18	18	18	18	18	18	18	19	18	17	219
平均 介護度	5年度	2.72	2.83	2.70	2.72	2.72	2.72	2.79	2.67	2.67	2.72	2.83	2.83	2.74
	4年度	2.84	2.72	2.72	2.72	2.78	2.78	2.72	2.56	2.53	2.61	2.72	2.79	2.71
延べ利用 日数	5年度	539	544	531	558	558	540	553	540	545	547	514	558	6,527
	4年度	533	544	528	558	558	540	549	538	554	558	504	557	6,521
稼働率	5年度	99.8%	97.5%	98.3%	100.0%	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	97.7%	98.0%	98.5%	100.0%	99.0%
	4年度	98.7%	97.5%	97.8%	100.0%	100.0%	100.0%	98.4%	99.6%	99.3%	100.0%	100.0%	99.8%	99.2%
	増減	1.1%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%	-1.6%	-2.0%	-1.5%	0.2%	-0.2%

②入退所状況

入居	在宅	老健	病院	法人内施設	他法人施設	合計
5年度	5	0	0	0	0	5
4年度	4	0	0	0	0	4

退居	在宅	施設 (看取り)	入院中	他施設、病院へ 退所	合計
5年度	0	1	1	3	5
4年度	0	0	0	4	4

③余暇活動状況（デイ花の里かつぼ共通）

活動名	実施回数	延べ参加人数
喫茶	19	167
ありんこ活動	8	15

月	内容	月	内容
4	花見ドライブ	10	東山ファミリーランドドライブ
5	おはぎ作り・すことも作品作り	11	収穫祭（秋の味覚弁当）・焼き芋
6	みやじ様外出・草取り	12	忘年会・お正月作品作り
7	夏祭り・市内ドライブ	1	お正月の遊び
8	長岡花火見学	2	節分
9	長寿を祝う会・花火館外出	3	桂小卒業記念品作り

(3) デイサービス花の里かつぼ

- ・居宅介護支援事業所と連携を図り、認知症の中核・周辺症状の強い方を受入れた。他事業所のサービス利用が困難な方についても、関係機関やご家族と情報共有等を密に図り受け入れることができた。また、ご利用者個々の興味が持てる作業等をきっかけとして残存機能の継続に繋がる活動を提供するなど居宅生活の継続支援に努めた。実人数や利用回数が増えたことから、稼働率の安定に繋がり目標稼働率 91.0%を上回る 93.0%を達成できた。
- ・ご利用者の中にはグループホームへ入居申込みされている方が 5 名おられる。それぞれ認知症による周辺症状が強く出ているが、今後も慣れた環境・顔馴染みの関係性を築いていくことで、安心して入居できるよう支援していく。

<資料>

① 利用者実績

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績 (平均)
延べ人数	5年度	82	91	85	87	87	78	84	86	88	87	83	83	1,021
	4年度	73	77	82	86	62	70	72	67	74	73	72	90	898
平均 介護度	5年度	1.45	1.54	1.58	1.49	1.47	1.63	1.60	1.85	1.85	1.84	1.80	1.84	1.66
	4年度	1.58	1.32	1.37	1.40	1.39	1.14	1.11	1.03	1.39	1.47	1.56	1.49	1.36
実人数	5年度	7	7	7	6	6	7	7	7	8	8	9	10	89
	4年度	6	8	8	8	7	7	7	6	8	7	6	7	85
稼働率	5年度	91.1%	97.8%	94.4%	93.5%	93.5%	86.7%	90.3%	95.6%	94.6%	93.5%	95.4%	89.2%	93.0%
	4年度	81.1%	82.8%	91.1%	92.5%	66.7%	77.8%	77.4%	74.4%	79.6%	78.5%	85.7%	96.8%	82.0%
	増減	10.0%	15.1%	3.3%	1.1%	26.9%	8.9%	12.9%	21.1%	15.1%	15.1%	9.7%	-7.5%	11.0%

2. ボランティア・実習生等の受け入れ状況

令和 5 年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により受け入れをできなかった。

3. 苦情（意見）内容

グループホーム 1 件 (内容) 管理者の対応への苦情

【シルバーハウジング生活援助員派遣事業】

市内3か所のシルバーハウジングに対し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、生活相談、安否確認や緊急対応などを行う「生活援助員(LSA)」を派遣した。(長岡市の受託事業)

安否確認の多くは、緊急ボタンの押し間違いや不在設定をせず外出したことによる誤報だった。援助員勤務中に救急車の手配をしたケースもあった。

要介護認定者数も増加傾向にあり、介護サービスを利用している方も増えている。

【シルバーハウジング稽古町団地】

緊急対応・連絡調整等	内容(対応)	計
	安否確認	8
	救急車の手配	1
	市役所への連絡	22
	親族への連絡	1
	医療・福祉機関との連絡調整	45

退居事由	内容	計
	介護施設入所	1
	入院等	0
	他界	0
	転居(市外)	0

【シルバーハウジング稲葉団地】

緊急対応・連絡調整等	内容(対応)	計
	安否確認	2
	救急車の手配	0
	市役所への連絡	10
	親族への連絡	0
	医療・福祉機関との連絡調整	90

退居事由	内容	計
	介護施設入所	1
	入院等	0
	他界	0
	転居(市外)	0

【シルバーハウジング千歳団地】

緊急対応・連絡調整等	内容(対応)	計
	安否確認	22
	救急車の手配	0
	市役所への連絡	35
	親族への連絡	1
	医療・福祉機関との連絡調整	67

退居事由	内容	計
	介護施設入所	0
	入院等	1
	他界	1
	転居(市外)	0